

# まちづくり瓦版

～うつくしま、まちづくり推進レポート～

Vol.82 令和4年12月14日発行



福島県では、本年度当初予算の重点事業として「ふくしまインフラツーリズム推進事業」をスタートしました。

今年度は福島市西部地域を中心として、モニターツアーを3回実施し、モデルコースの造成とポータルサイトの立ち上げを計画しています。

今回は、9月に新しく土木遺産に認定された福島の石橋群の1つである旧祓川橋の見学やふくしまスカイパークでの滑走路走行体験などを含む第3回目のモニターツアーを実施しました。

## 【実施日】

令和4年11月26日（土）～27日（日）

## 【場 所】

福島市西部地域

## 【内 容】

一日目は、旧祓川橋の由来を学び、ふくしまスカイパークではバスで滑走路を走行し、午後から、摺上川ダムの役割や規模を学び奥飯坂温泉に宿泊。

二日目は、飯坂温泉駅から電車に乗り、桜水駅まで移動して、福島交通車両基地で、車両基地見学と運転体験をしていただきました。

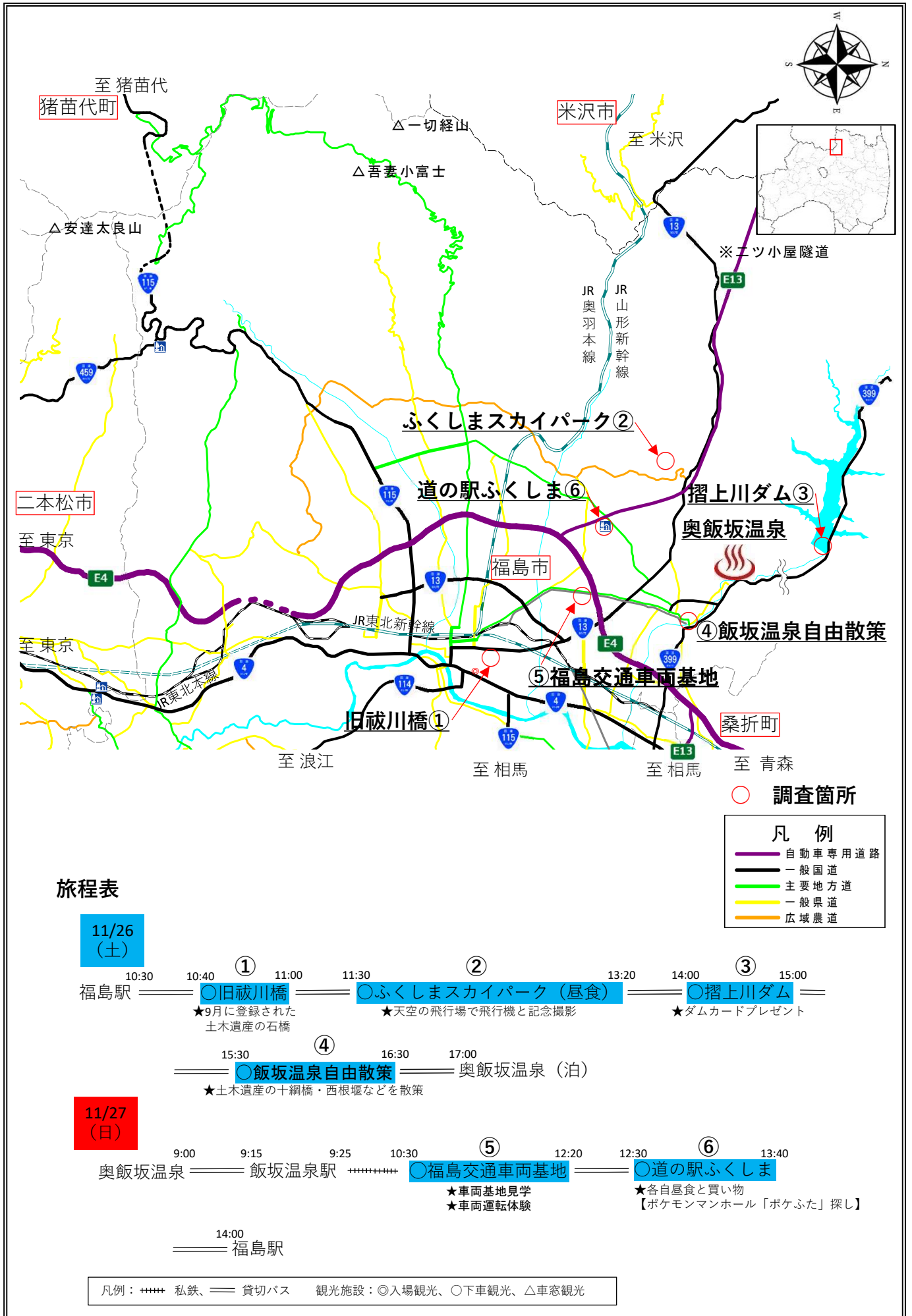
モニターツアーでは施設見学や体験、日程、費用等についてアンケートを行い、その結果をもとに分析して、今後の事業の取組に役立てます。

## 【参加者】

県内外の幼児から50代までの14名（内お子様5名）

（男性6名、女性8名）

（県のホームページ、JTBのメルマガにより募集しました。）



**旅程表**

<b>11/26 (土)</b>	
10:30 福島駅	10:40 ① 旧祓川橋
★9月に登録された土木遺産の石橋	
11:00	11:30 ② ふくしまスカイパーク (昼食)
★天空の飛行場で飛行機と記念撮影	
13:20	14:00 ③ 摺上川ダム
★ダムカードプレゼント	
15:30	16:30 ④ 飯坂温泉自由散策
17:00 奥飯坂温泉 (泊)	
★土木遺産の十綱橋・西根堰などを散策	
<b>11/27 (日)</b>	
9:00 奥飯坂温泉	9:15 飯坂温泉駅
9:25	10:30 ⑤ 福島交通車両基地
★車両基地見学 ★車両運転体験	
12:20	12:30 ⑥ 道の駅ふくしま
★各自昼食と買い物 【ポケモンマンホール「ポケふた」探し】	
14:00	福島駅

凡例：++++ 私鉄、==== 貸切バス 観光施設：◎入場観光、○下車観光、△車窓観光

## ①旧祓川橋

福島市中心部の信夫山公園噴水広場の入り口に位置する空石積工法で作られた石造アーチ橋で、9月には土木遺産に登録されました。

この橋は、江戸時代末期の安永3年（1774年）に大町で呉服屋「喜多三」を営んでいた古関三郎治（福島市出身の作曲家、古関裕而の曾祖父にあたる）が寄進して祓川にかけられた橋を移設したものです。



◀バスガイドさんから、橋の由来等の説明を受けました。

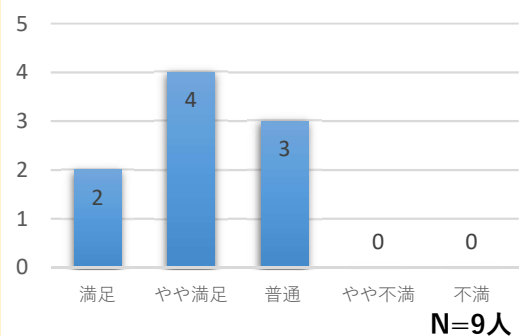
▶旧祓川橋の全景



### 📄 アンケート結果 📄

- ・古くからある橋に感動した。
- ・土木遺産について、知る機会となりました。
- ・橋の歴史について勉強になったから。
- ・このツアーでしか行けないところがもう少しあったらと思ったので。
- ・歴史を感じたが、橋の下から降りてみられるとよい。

### アンケート評価結果



## ②ふくしまスカイパーク（滑走路走行を含む）

ふくしまスカイパークは、福島市中心部から北西に約10km程離れた場所に位置する農道離着陸場です。

吾妻連峰をはじめ、美しい山々に囲まれた雄大なロケーションは、四季折々に豊かな表情を見せてくれます。

航空機が離陸できる時速100km/hを目指して、バスで滑走路の走行体験をしたあと、実際に航空機に触れたり、搭乗して記念撮影をしました。

昼食は、施設に隣接するWing Caféで食べました。



◀滑走路の走行体験を終え、滑走路に降り立った参加者。



福島牛を使ったオムカレー

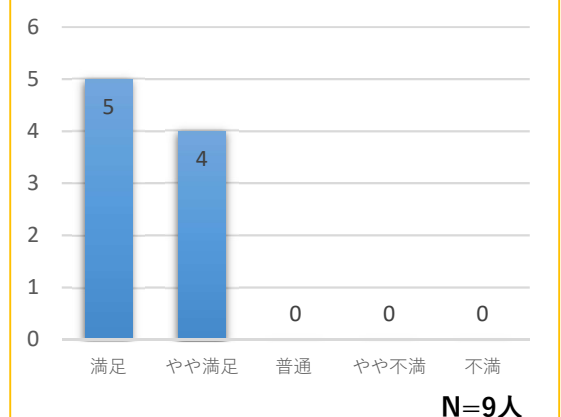


▶航空機への搭乗を終え、記念撮影。



### 📄アンケート結果📄

- ・飛行機を身近に見られることと、滑走路を走れること。
- ・滑走路に降りることや飛行機などに触れることがないため、良い経験になりました。
- ・滑走路をバスで走る時にもう少しスピードが有ったら良かったかなと思います。
- ・飛行機で実際に体験飛行機できたらもっと良かった。



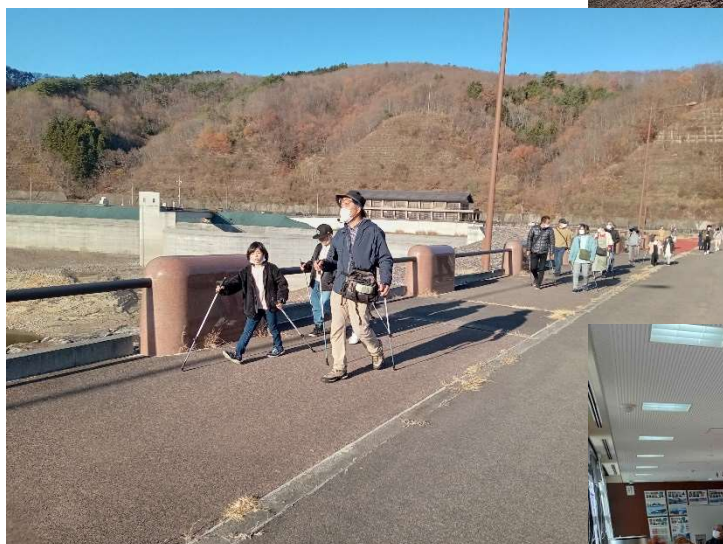
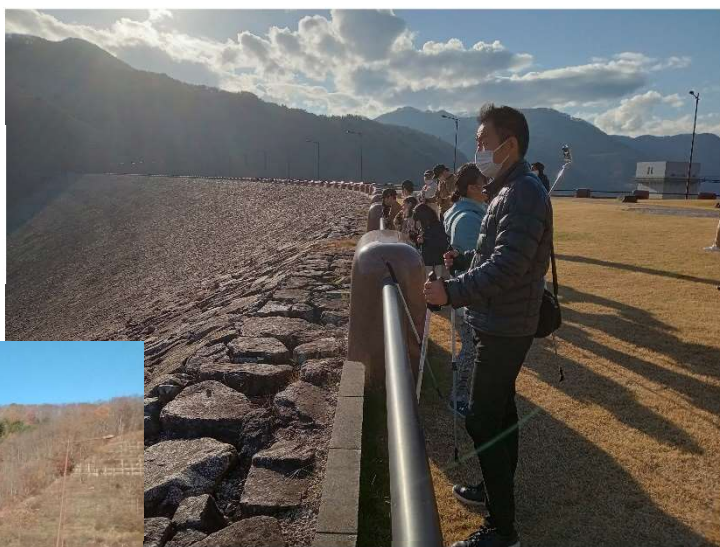
### ③ 摺上川ダム

摺上川ダムは、福島市飯坂町茂庭地内に建設された多目的ダムで、集水面積160km<sup>2</sup>、総貯水容量1億5,300万m<sup>3</sup>を有するダム高105mの中央コア型ロックフィルダムです。

このダムは、洪水調節、流水の正常な機能の維持、かんがい用水補給、水道用水供給、工業用水確保、加えて水力発電と多くの役割を担っています。

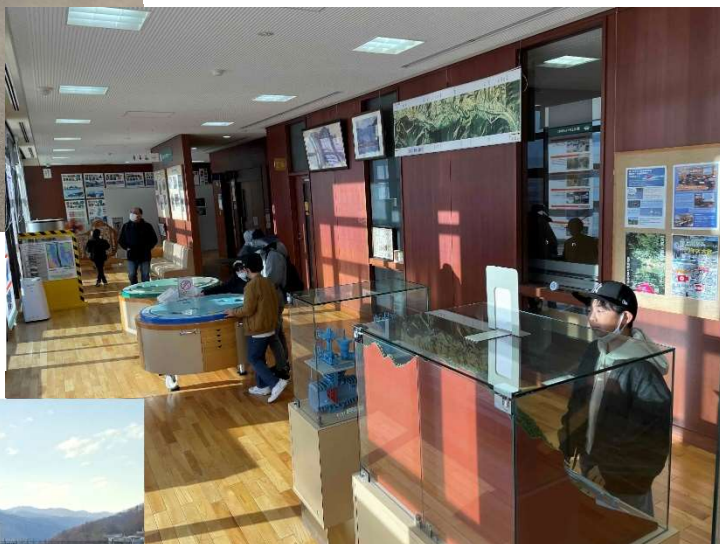
今回は、いいざかサポーターズクラブの案内で、ダムを見学しました。

▶ダムの構造などの説明を聞きながら、ダム下流の景観を楽しみました。



◀ウオーキングポールを使ってダムの天端を歩きました。

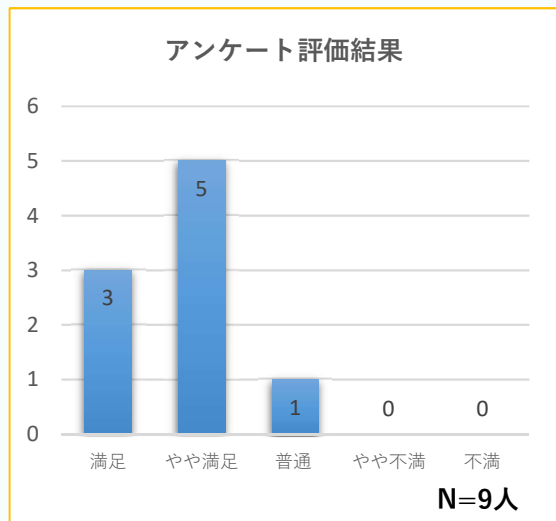
▶インフォメーションセンターでの見学。



◀さくらんぼ大将「六郎太」と一緒に記念撮影。

## 📄 アンケート結果 📄

- ・ノルディックポールを持つだけで、雰囲気アウトドアっぽくて楽しかった。また、ダムがロックフィル工法の素晴らしい景観で感動した。
- ・ダムの事について詳しく説明を受ける機会が今までなく、面白かった。
- ・もっとたくさん歩いて観られるとよかった。
- ・ダムの中も見学したかった。外からだけでは物足りなさを感じた。



### ③飯坂温泉自由散策（十綱橋、西根堰）

十綱橋の由来など聞いてから、各自、自由行動で温泉街を散策しました。中には、共同浴場を利用した人も見受けられました。



◀バスガイドさんから温泉街の見所など説明を受けた後、各自、自由散策しました。

### ④福島交通車両基地（桜水駅）

平成29年春から飯坂線に新しく導入された1000系電車は、もともとは東急東横線と東京メトロ日比谷線で運用されていた車両です。

運転台は、マスコンとブレーキを一体化したワンハンドルマスコン仕様になっています。

▶レトロ調にした車両の中で、電車の説明を受けました。





▲電車の仕組みを熱心に聞き入っていました。



▲真剣な表情で車両の運転体験をしました。

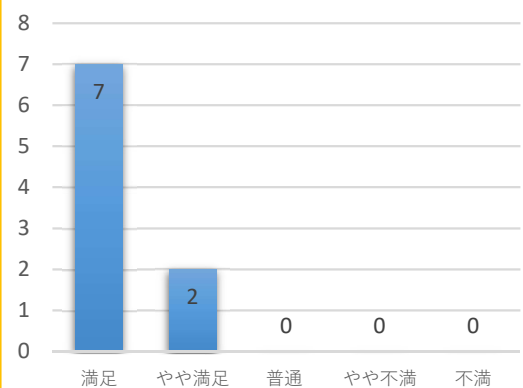


▲ヘッドマークへのこだわりを知りました。

### 📄 アンケート結果 📄

- ・電車運転体験が非日常であり、特別感があった。
- ・実際に本物の電車を本物の線路で走らせる体験ができたから。
- ・電車を実際に動かせた。
- ・なにより鉄道の運転ができたこと。
- ・現役の車両の運転体験ができて感激でした。

アンケート評価結果



N=9人

## ⑥道の駅ふくしま（「ポケふた」探し）

道の駅ふくしまは、東北中央自動車道「福島大笹生IC」隣接地に、令和4年4月にオープンした道の駅です。

吾妻連峰を見渡す最高のロケーションに位置し、ここでしか味わえない地元のグルメや産品が豊富にそろい、「屋内子ども遊び場」や、「ドッグラン」を備え、大人も子どもも、愛犬も楽しめる道の駅です。

また、防災倉庫や耐震性貯水槽、太陽光発電を完備しており、バイオマス発電による電力を使用するなど、防災面を意識した環境にも優しい道の駅です。

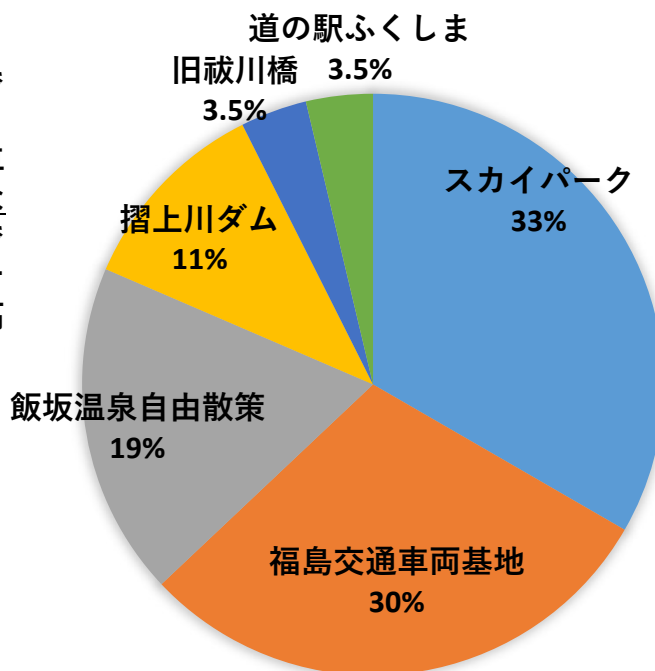
ここでは、参加者が各自昼食を取って、「ポケふた」を探して記念撮影したり、お土産品を買うなどして集合時間までゆっくり過ごしていました。



▲「ポケふた」と一緒に  
はいポーズ。

## ※インフラコンテンツ満足度

満足度の高かったプログラムを3つ選んでもらったところ、これまでのモニターツアーと同様に“アクティビティ要素”として福島交通車両基地での車両運転体験と“福島ならではの”のふくしまスカイパークでの滑走路走行体験にインフラコンテンツとして魅力を感じ、満足度が高い傾向にありました。





## ✂ 編集後記 ✂

今回のモニターツアーでは、土木遺産の歴史や造られた目的など、インフラ施設を観光資源として、車両基地で電車の仕組み等を学び、実際に使われてる車両を運転するなど様々な年齢層でも楽しめたツアーになりました。

しかし、ふくしまスカイパークでの滑走路走行では、中型バスの性能から80km/hまでしか体験出来なかったのが少し残念でした。

また、アンケート結果からインフラ施設を見るだけではなく、ここでしかできない体験をすることが重要だと分かりました。引き続き、県内におけるインフラ施設を観光資源として活用し、インフラツーリズムの推進に取り組んでまいります。

### 土木部メールマガジン登録随時受付中!!

土木部メールマガジンでは、土木部の取組みや情報を定期的に発信しています。最新号のメール配信を希望の方は、下記により登録をお願いします。

これまでに配信したメールマガジンについては、土木企画課のホームページ（<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41025a/doboku-mm.html>）からご覧いただけます。

メールマガジン（無料）の配信をご希望される方は



【土木部メルマガ希望または、解除】  
をお書きのうえ下記アドレスまで  
メール送信してください。

[doboku\\_mailmagazine@pref.fukushima.lg.jp](mailto:doboku_mailmagazine@pref.fukushima.lg.jp)

土木企画課（システム担当） 024-521-7886

【まちづくり瓦版 発行元】  
福島県土木部まちづくり推進課

TEL 024-521-7511

FAX 024-521-7956

e-mail [machizukuri@pref.fukushima.lg.jp](mailto:machizukuri@pref.fukushima.lg.jp)

URL <http://www.pref.fukushima.jp/machi/>